

平成 28 年 7 月 25 日現在

大会概要

名 称	第 13 回全日本ジュニア・ライフセービング競技会
日 程	2016 年 8 月 27 日（土）～8 月 28 日（日）
場 所	岩井海岸（千葉県南房総市）
主 催	特定非営利活動法人日本ライフセービング協会
後 援（予定）	千葉県、千葉県教育委員会、南房総市、南房総市教育委員会、 公益財団法人ちば国際コンベンションビューロー
助 成	スポーツ振興くじ助成事業
協 力（予定）	南房総市観光協会岩井支部、岩井民宿組合、有限会社吉田三郎商店、 岩井ライフセービングクラブ
競技種目	<b>【個人種目】</b> 1. ウェーディングレース（1.2 年男女混合） 2. ランスイムラン（3.4 年男・女、5.6 年男・女） 3. ニッパーボードレース（3.4 年男・女、5.6 年男・女） 4. ビーチフラッグス（1.2 年男女混合、3.4 年男・女、5.6 年男・女） <b>【チーム種目】</b> 5. タップリンリレー（3.4 年男女混合、5.6 年男・女） 6. ニッパーボードリレー（3.4.5.6 年男女混合）
表 彰	各種目 1 位から 3 位の選手を表彰しメダルを授与します。 <個人表彰> 各種目の上位 1 位から 8 位を入賞とします。また、1 位から 3 位の選手を表彰します。 <チーム総合表彰> チーム総合得点により上位 1 位から 8 位を入賞とします。また、1 位から 3 位のチームを表彰し、表彰状を授与します。（男子と女子でカテゴリーは分けません）
参 加 数 （予定）	選手・小学生約 150 名 審判員・スタッフ：約 50 名 観戦者／応援者：約 1,000 名（2 日間延べ）

【お問い合わせ先】

日本ライフセービング協会 事務局 TEL：03-3459-1445/FAX：03-3459-1446/E-mail：info@jla.gr.jp

# 全日本ジュニア・ライフセービング競技会

## 【大会参加規程】

### 1 参加資格

選手の参加資格は下記を満たしている、若しくは主催団体が特別に参加を認めた者でなければならない。

1-1 選手は、大会初日当日に小学校在籍またはそれと同様の年齢に達していること。

1-2 選手は、ライフセービングを志している者とする。

1-3 小学生1年生～6年生で保護者の同意を得た健康な男女。

### 2 チーム構成

2-1 チームは学校もしくはクラブなど、同じ団体に所属している選手により構成されていなければならない。また、1団体からの出場は1チームとする。

2-2 チーム責任者を1名選出すること。

2-3 合同チーム編成について

2-3.1 複数クラブによる合同1チーム編成での大会参加を認める。

2-3.2 合同チームは本大会のみへの出場を認めるものとする。

2-3.3 合同チームの編成が本大会の主旨に適合しないと実行委員会が判断する場合もある。

2-3.4 チーム名は、クラブ名を連記すること。その順番は、クラブ間で協議して決定すること。なお、大会では便宜上、以下のように表記する。

「合同A : ○○ライフセービングクラブ・○○○小学校」

「合同B : ○○○小学校・○○○ライフセービングクラブ」

2-3.5 合同チームの編成が本大会の主旨に適合しないと実行委員会が判断する場合もある。

### 3 出場登録

3-1 選手は、あらかじめ所定の用紙を用い締切日までに出場種目の登録をしなければならない。

3-2 出場登録は1名につき2種目までとする。ただし、チーム種目は除く。

3-3 選手個人の技術や体力などを充分考慮してエントリーすること。

### 4 ユニフォーム及び競技中の衣類

4-1 式典や表彰式および競技に適したユニフォーム（なければジャージ等）、水着、キャップを持たなければならない。ラッシュガードは、主催団体から特別な指示がない限り競技中、任意に着用することができる。

4-2 ユニフォーム、水着、キャップの性質、デザインが一般良識に反すると主催団体が判断した場合は、いかなる選手も競技に参加することができない。水着については、「水着に関する規定」に準じる。

4-3 キャップは、選手の識別や判定のために重要であるため、スタート前に2本の紐をあごの下で結んで選手の頭に着用しなければならない。スタートの後に、キャップがとれたり、失ったりした場合、違反なしに競技が終了できていれば失格とはならない。

4-4 チームのユニフォーム、水着、キャップ、ラッシュガードに競技会のスポンサーと対立するような商標、商標名があると主催団体が判断した場合、その対応は主催団体の指示に従うこととする。

4-5 合同チームでユニフォームやキャップ等、統一するものを新調する必要はない。

### 5 参加費

5-1 参加費は、参加申込締切日までに支払わなければならない。

5-2 変更手数料は、あらかじめ指定された期日までに支払わなければならない。

### 6 競技器材

6-1 競技に使用する器材は原則として参加選手が用意するものとする。

### 7 競技規則

7-1 「ライフセービング競技規則（2014年版）」に則って行う。

7-2 本大会のスタート方法は、2回制（2スタートルール）とする。

7-3 靴の着用は競技中の安全性を考慮し使用可能とする。なお、競技会場（砂浜）の状況に応じて、着用を義務付ける場合もある。

（以上）

## ■ 競技規則 (距離についての変更)

### ◆ ウェーディングレース

#### (1) コース

##### ① ブイの位置

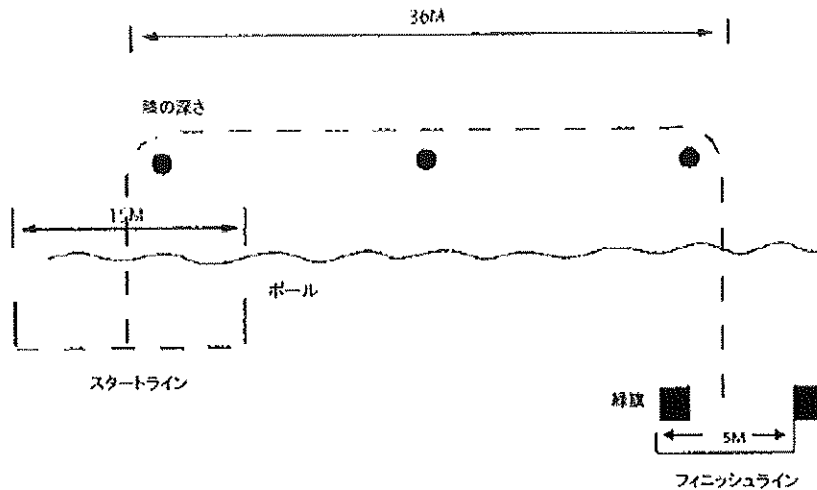
ブイは、深さは膝の位置に設置し、幅は 36m とする。

##### ② スタートライン

スタートラインは、ラインの中間に第 1 ブイが位置するように、水際から 5m の浜に設定する。ラインの長さは約 15m で、両端にポールを立てる。

##### ③ フィニッシュライン

フィニッシュラインは、ラインの中間に第 3 ブイが位置するように、水際から約 15m の浜に設定する。ラインの長さは約 5m で、両端に緑旗を立てる。



### ◆ ランスイムラン

#### (1) コース

##### ① ブイの位置

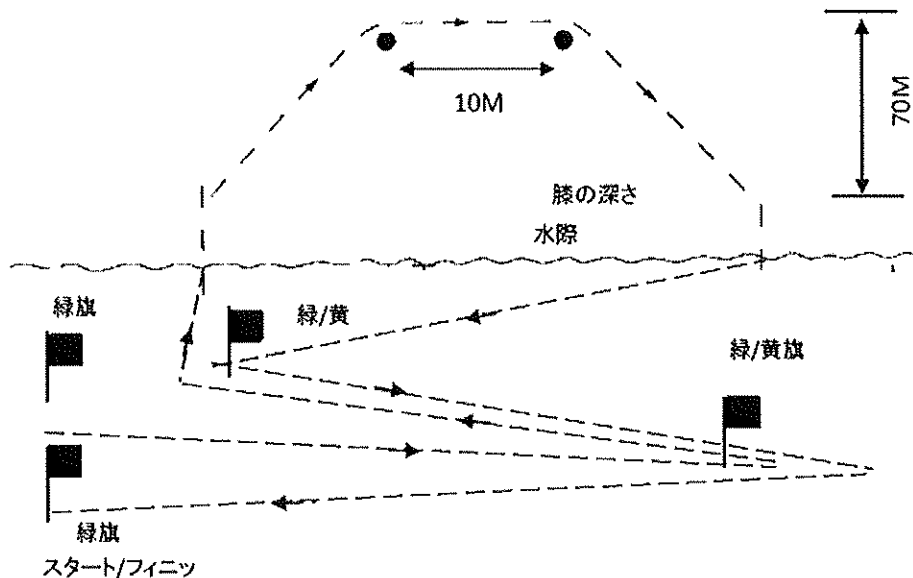
スイミングブイは、最短 70m 沖合に配置し、コースは、約 200m 走り、約 200m 泳ぎ、約 200m 走りゴールするようにする。

##### ② スタート・フィニッシュライン

スタートラインとフィニッシュラインは同じ。ラインの長さは約 40m で、両端に緑旗を立てる。

##### ③ 折返し点

浜を折返す際、折返し旗は緑/黄旗とする。



◆ニッパーボード

(1) コース

① ブイの位置

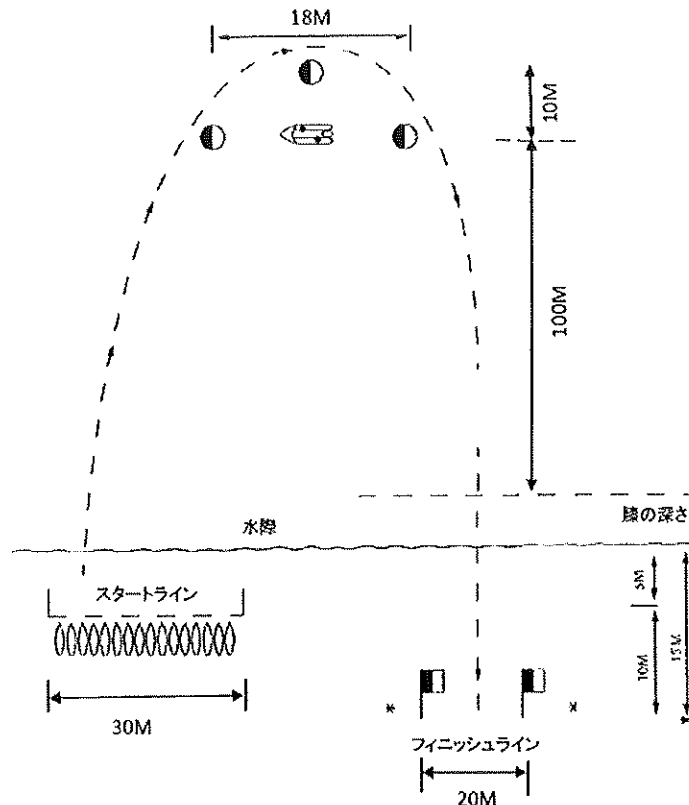
2 個のブイを 100m 沖合に約 18m 間隔で配置する。もう 1 個のブイは、2 個のブイから約 10m 沖合の 2 個のブイの中間に配置し、3 個のブイで三角形をつくる。

② スタートライン

スタートラインは、第 1 ブイがラインの中央から垂直に伸ばした線上に位置するように設置し、水際から約 5m の浜に設定する。ラインの長さは約 30m で、両端にポールを立てる。

③ フィニッシュライン

フィニッシュラインは、ラインの中間に第 3 ブイが位置するように水際から約 15m に設定する。ラインの長さは約 20m で、両端にポールを設置する。フィニッシュの旗は、白/黒旗とする。



◆タップリンリレー

(1) コース

① ブイの位置

スイミングブイは膝の深さの地点から最短 70m 沖合に配置する。ニッパーボード区間のブイはスイミングブイから約 30m 沖合に約 18m 間隔で 2 個配置する。

② 折返し点

浜の折返し点に旗 2 本を立てる。第 2 折返し旗は最終スイミングブイと、第 1 折返し旗は第 1 スイミングブイと向かい合い、両方とも水際から約 20m の浜に立てる。

③ スタートライン

スタートラインは、ラインの中心が第 1 スイミングブイと向かい合うように水際から約 5m の浜に設定する。ラインの長さは約 30m で、両端にはポールを立てる。

④ チェンジオーバーライン

チェンジオーバーラインはスタートラインと同じ。

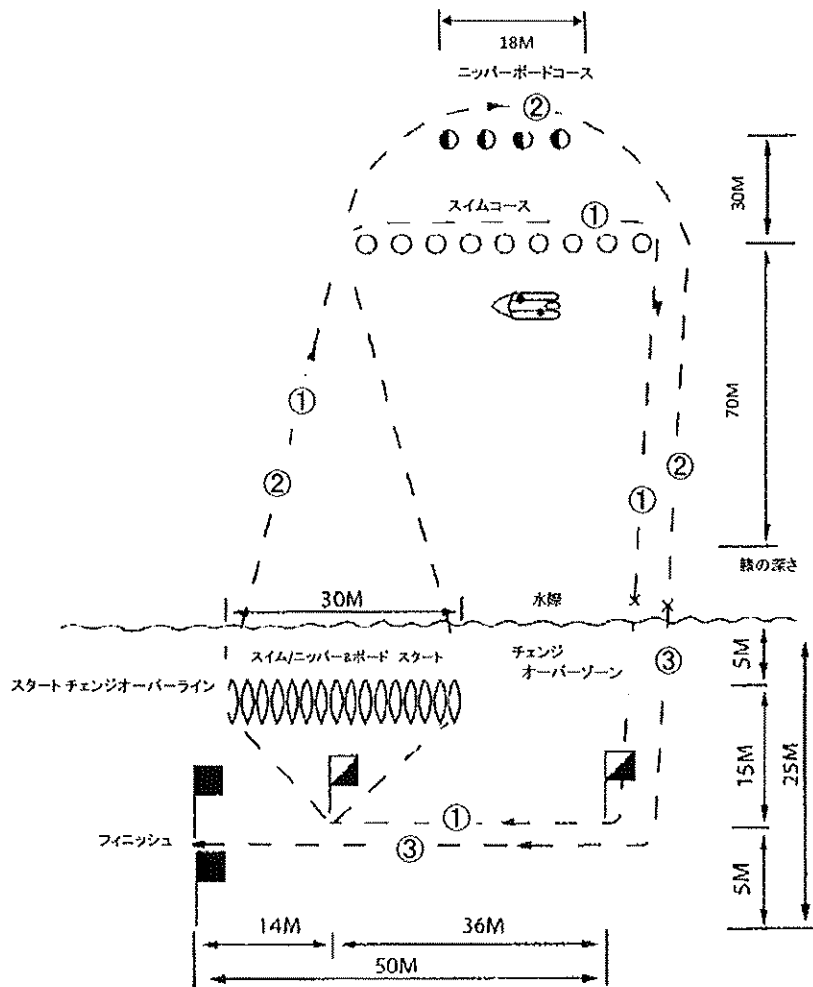
⑤ フィニッシュライン

2 本の旗を 5m の間隔を空けて設置する。フィニッシュラインは 1 本目の折返し旗から約 50m 離れた位置に、水際と垂直の角度で設置する。

(2) 競技の方法

① 本競技は、スイム区間、ニッパーボード区間、ラン区間の合計約 560m のコースで行われる。

- ② タップリンの各区間の順序は、競技会前に抽選によって決定される。ただしラン区間は、最終区間とする。
- ③ 各区間の競技は、原則としてニッパーボードレース、ジュニアサーフレース、ジュニアビーチスプリントに準じる。
- ④ スイム区間：スイム区間は、スタートからチェンジオーバーラインまでに、スイミングブイを回り、浜に戻り2本の折返し旗を回る。
- ⑤ ニッパーボード区間：ニッパーボード区間は、スタートからチェンジオーバーラインまでに、スイミングブイおよび2個のニッパーボードレースブイを回り、ニッパーボードを水際に残して浜に戻り2本の折返し旗を回る。
- ⑥ ラン区間：ラン区間は、第1折返し旗を回り、2本目の折返し旗の陸側を通過し、フィニッシュラインの両端に設置された旗の間を通過しゴールする。
- ⑦ ニッパーボードが損傷した場合は、区間のスタート・チェンジオーバーラインで交換することができる。ただし、他の競技者の進路を妨害してはならない。また、交換する場合、ハンドラーが別のニッパーボードをスタート・チェンジオーバーラインまで運ぶことは認められる。
- ⑧ 競技者は、ニッパーボードから離れ操作できなくなっても、再度それらを確保し操作できれば失格にはならない。ただし、各区間において最終ブイを回るまではニッパーボードを操作していなければならない。最終ブイを回った後は、ニッパーボードから離れたままでも競技を継続することができる。
- ⑨ ハンドラーは、共通競技総則に準じる。
- ⑩ 着順は、フィニッシュラインを越える競技者の胸の位置で判定される。競技者は体を起こした状態でフィニッシュラインを足で越えなければならない。
- ⑪ 競技者は、最終ブイを通過するまではニッパーボードを保持していなければならない。ブイから戻る途中でニッパーボードが離れても失格とはならない。ブイに向かう途中でニッパーボードが離れても失格とはならないが、この場合は、ニッパーボードを回収し、保持した状態でコースの最終ブイを通過し、コースを終了する。



◆ニッパーボードリレー

(1) コース

- ① ブイの位置  
ニッパーボードレースに準じる。
- ② 折返し点  
浜の折返し旗 2 本を水際から約 20m の浜に立てる。
- ③ スタートライン  
ニッパーボードに準じる。
- ④ チェンジオーバーライン  
チェンジオーバーラインはスタートラインと同じ。
- ⑤ フィニッシュライン  
水際に対して垂直で、第 2 折返し旗（緑／黄旗）から約 14m に設定する。ラインの長さは約 5m で、両端に緑旗を立てる。

(2) 競技の方法

- ① 以下を除きニッパーボードレースに準じる。
- ② 第 1 競技者は、ニッパーボードレースと同様の手順でスタートし、全てのブイを左から右へ回って浜へ向かい、にニッパーボードを水際に残し、2 本の折返し旗を回って、指定されたチェンジオーバーラインで待機している第 2 競技者にタッチする。
- ③ 第 2 競技者は、第 1 競技者と同じコースをとり、2 本の折返し旗を回って指定されたチェンジオーバーラインで第 3 競技者にタッチする。
- ④ 第 3 競技者は、第 1、第 2 競技者と同じコースをとり、第 1 折返し旗を回って、第 2 折返し旗の陸側を通過してからフィニッシュラインの両端に設置された 2 本の旗の間を通過する。
- ⑤ 競技者は、ボードから離れたり操作できなくなっても、再度ニッパーボードを確保し操作できれば失格にはならない。ただし、最終ブイを回るまではニッパーボードを漕いでいなければならない。最終ブイを回った後は、ニッパーボードから離れたままでも競技を継続することができる。
- ⑥ ハンドラーは共通競技総則に準じる。
- ⑦ 全ての競技者のスタート位置は、次のように指定された位置とする。第 1 および第 3 競技者は、抽選によって決定した以下のコースとする。

第 1 および第 3 競技者のスタート位置	1	2	3	・・・	14	15	16
第 2 競技者のスタート位置	16	15	14	・・・	3	2	1

それに対して、第 2 競技者は、第 1 および第 3 競技者のコースの左右を入れ替える。例えば、16 チームが参加するレースで、抽選により 1 コースと指定された場合、第 1 競技者は 1 の位置からスタート、第 2 競技者は 16 の位置からスタート、第 3 競技者は 1 の位置からスタートとなる。競技者は、他の競技者のニッパーボードを掴んだり、妨害してはならない。また故意に進路を妨害してはならない。

- ⑧ レース中、競技者のニッパーボードが他のチームまたは競技者の進路を妨害しないよう、同じチームのハンドラー、または審判が承認した他のメンバーが配慮する。浜の混雑とニッパーボードの損傷を回避するため、ニッパーボードは可能な限り速やかに水際から除去しなければならない。
- ⑨ 同一クラブから複数のチームが出場する場合、各チームは識別ができる数字や文字を上衣に入れるか腕や脚に書くこと。
- ⑩ 着順はフィニッシュラインを越える競技者の胸の位置で判定される。競技者は体を起こした状態でフィニッシュラインを足で越えなければならない。

### ◆ビーチフラッグス

#### (1) コース

- ① コースは、スタートラインからバトンまで約 15m とし、競技者が 1.5m の間隔で整列できる幅を確保する。
- ② バトンはスタートラインと平行して、一列に配置し、競技者と競技者の間、又は等間隔に位置するように立てる
- ③ バトンは砂の上に約 2/3 が見えるよう、立てた状態に設置する。スタートライン両端にはポールを 2 本立て緑旗をつける。

